

1号機

・1号機の原子炉注水設備においては、2月29日に実施する格納容器内部調査(気中部調査)に伴い、下記で1号機の原子炉注水を停止する。

また、調査終了後、1号機の原子炉注水を再開する。

(2月29日の原子炉注水量変更予定 調査開始前 :3.8 m³/h→0 m³/h)

(2月29日の原子炉注水量変更予定 調査終了後 :0 m³/h→3.8 m³/h)

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいる。

2月29日午前10時13分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.8 m³/h→0 m³/h)

その後、格納容器内部調査(気中部調査)の準備において、ヘビ型ロボットが予定していたポイントに到着することができなかつたため、予定していた格納容器内部調査(気中部調査)については、調査を見送ることとしたことから、午後0時31分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0 m³/h→3.8 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

・1号機の原子炉注水設備においては、2月29日に見送りとしていた、格納容器内部調査(気中部調査)を3月14日に実施することとなった。これに伴い、下記で1号機の原子炉注水を停止する。

また、調査終了後、1号機の原子炉注水を再開する。

(3月14日の原子炉注水量変更予定 調査開始前 :3.8 m³/h→0 m³/h)

(3月14日の原子炉注水量変更予定 調査終了後 :0 m³/h→3.8 m³/h)

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいる。

3月14日午前9時52分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.8 m³/h→0 m³/h)

その後、調査終了に伴い、午後0時10分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:0 m³/h→3.8 m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

・1号機の原子炉注水設備においては、原子炉格納容器の水位を計画的に低下させるため、原子炉注水量を変更する。

現在の原子炉格納容器水位(圧力抑制室底部から約8.5m)から、最終的な水位として圧力抑制室の中央部付近(圧力抑制室底部から約4m)を目指し水位低下を行う。

その過程では約50cmごと、段階的に8つのホールポイントを設定することとし、ホールポイントに向けて水位を低下させる期間と、ホールポイントにて水位を維持し影響を確認する期間、各々2週間程度設ける予定。

今回、ホールポイント1(圧力抑制室底部から約7.9m)に向けた水位低下のため、下記の通り原子炉注水量を変更する。

(3月26日の原子炉注水量変更予定:3.8 m³/h→3.4 m³/h)

この間、水位低下傾向を監視しつつ、下記の設定流量の範囲の中で随時調整する。

(設定流量:3.4 ±0.3 m³/h)

水位がホールポイント1到達後は、水位維持のため、下記の通り原子炉注水量を変更する。

(ホールポイント1付近到達後の原子炉注水量変更予定:3.4 m³/h→3.6 m³/h)

この間、水位安定傾向を監視しつつ、下記の設定流量の範囲の中で随時調整する。

(設定流量:3.6 ±0.3 m³/h)

なお、設定流量の範囲を超えて流量を調整する場合はお知らせする。

3月26日午後2時20分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.8 m³/h→3.4 m³/h)

3月26日に原子炉格納容器水位(圧力抑制室底部から約8.5m)の低下を開始し、関連パラメータを監視してきたが、3月29日から当初想定よりも水位低下が緩やかな状況にある。

この状況が継続した場合、ホールポイント1(圧力抑制室底部から約7.9m)到達が大幅に遅れることから、下記の通り原子炉注水量・設定流量を変更する。

なお、水位低下が緩やかになった理由は、確認している漏れ口のひとつである真空破壊ラインベローズが水位低下に伴い露出した影響と考えている。

(4月2日の原子炉注水量変更予定:3.1 m³/h→2.7 m³/h)

この間、水位低下傾向を監視しつつ、下記の設定流量の範囲の中で随時調整する。

(設定流量:3.4 ±0.3 m³/h → 2.7 ±0.3 m³/h)

水位がホールポイント1到達後は、水位維持のため、下記の通り原子炉注水量を変更する。

(ホールポイント1付近到達後の原子炉注水量変更予定:2.7 m³/h→3.1 m³/h)

この間、水位安定傾向を監視しつつ、下記の設定流量の範囲の中で随時調整する。

(設定流量:3.1 ±0.3 m³/h)

なお、設定流量の範囲を超えて流量を調整する場合はお知らせする。

4月2日午前10時14分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:3.1 m³/h→2.7 m³/h)

4月11日午前10時37分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(原子炉注水量変更:2.4 m³/h→3.0 m³/h)

その後、ホールポイント1の原子炉格納容器水位を維持するため、原子炉注水量を設定流量の範囲内の3.0 m³/hから2.8 m³/hまで調整して、原子炉格納容器水位を監視してきたが、原子炉格納容器水位に緩やかな上昇傾向が継続していることから、ホールポイント1付近で原子炉格納容器水位を維持するため、4月12日に以下の通り原子炉注水量・設定流量を変更した。

(4月12日の原子炉注水量変更:2.8 m³/h→2.5 m³/h)

(設定流量:3.1 ±0.3 m³/h→2.7 ±0.3 m³/h)

今後、原子炉注水量については、ホールポイント1の原子炉格納容器水位を維持するため、水位安定傾向を監視しつつ、設定流量の範囲の中で随時調整する。

なお、設定流量の範囲を超えて流量を調整する場合はお知らせする。

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

引き続き、慎重に監視してまいる。

・1号機原子炉格納容器においては、原子炉注水量を変更することにより、計画的に圧力抑制室中央部付近(圧力抑制室底部から約4m)を目指し水位低下を3月26日から実施中。

その過程では約50cmごと、段階的に8つのホールポイントを設定することとし、ホールポイントに向けて水位を低下させる期間と、ホールポイントにて水位を維持し影響を確認する期間、各々2週間

程度設ける予定。

4月11日に原子炉格納容器水位がホールドポイント1に到達以降、水位を維持した状態で水位低下によるプラントパラメータへの影響を確認し、異常が確認されなかったことから、ホールドポイント2(圧力抑制室底部から約7.4m)に向けた水位低下のため、5月13日、午前11時13分、下記の通り原子炉注水量を変更した。

この間、水位低下傾向を監視しつつ、下記の設定幅の中で随時調整する。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	5月13日 原子炉注水量変更前	5月13日 原子炉注水量変更後	ホールドポイント2 到達後
	2.9m ³ /h (2.7±0.3m ³ /h)	2.3m ³ /h (2.3±0.3m ³ /h)	

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、原子炉注水量の設定幅を超えて流量を調整する場合にはお知らせする。

また、ホールドポイント2到達後の原子炉注水量および設定流量は現時点での想定であり、今後の水位低下操作実績や水位の変化状況を踏まえ変更になる可能性がある。変更となった場合は、お知らせする。引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。

・ホールドポイント2に向けた水位低下開始以降、原子炉格納容器の水位低下傾向を監視しつつ、原子炉注水量を設定幅の2.3±0.3m³/hの範囲で調整し、現在、原子炉注水量を2.6m³/hに設定している。

5月25日、午前9時25分頃、1号機原子炉格納容器バブラ式水位計の指示値がホールドポイント2以下になったことから、原子炉格納容器水位がホールドポイント2に到達したと判断した。

午前9時56分、ホールドポイント2の水位を維持した状態で、水位低下による各プラントパラメータへの影響を確認するため、原子炉注水量を以下の通り変更した。

この間、水位維持傾向を監視しつつ、以下の設定幅の中で随時調整する。

なお、ホールドポイント2水位到達後の原子炉注水量および設定幅について、ホールドポイント2水位到達までの水位低下実績を踏まえ当初予定から変更している。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	5月25日 ホールドポイント2到達前	5月25日 ホールドポイント2到達後	ホールドポイント2 到達後(当初予定)
	2.6m ³ /h (2.3±0.3m ³ /h)	2.8m ³ /h (2.8±0.3m ³ /h)	

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、原子炉注水量の設定幅を超えて流量を調整する場合にはお知らせする。

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。

・1号機原子炉格納容器においては、原子炉注水量を変更することにより、計画的に圧力抑制室中

央部付近(圧力抑制室底部から約4m)を目指し水位低下を3月26日から実施中。

その過程では約50cmごと、段階的に8つのホールドポイントを設けることとし、ホールドポイントに向けて水位を低下させる期間と、ホールドポイントにて水位を維持し影響を確認する期間、各々2週間程度設ける予定。

5月25日に原子炉格納容器水位がホールドポイント2に到達以降、水位を維持した状態で水位低下によるプラントパラメータへの影響を確認し、異常が確認されなかったことから、ホールドポイント3(圧力抑制室底部から約7.1m)に向けた水位低下のため、6月13日、午前10時19分、下記の通り原子炉注水量を変更した。

この間、水位低下傾向を監視しつつ、下記の設定幅の中で随時調整する。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	6月13日 注水量変更前	6月13日 注水量変更後	ホールドポイント3 到達後
	2.8m ³ /h (2.8±0.3m ³ /h)	2.7m ³ /h (2.7±0.3m ³ /h)	

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、原子炉注水量の設定幅を超えて流量を調整する場合にはお知らせする。

・ホールドポイント3に向けた水位低下開始以降、原子炉格納容器の水位低下傾向を監視しつつ、原子炉注水量を設定幅の2.7±0.3m³/hの範囲で調整し、現在、原子炉注水量を2.4m³/hに設定しているが、当初の想定より水位低下が緩やかな状況。

この状況が継続した場合、ホールドポイント3到達が遅れることから、6月26日午後2時39分、下記の通り原子炉注水量・設定幅を変更する。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	6月26日 注水量変更前	6月26日 注水量変更後	ホールドポイント3 到達後
	2.4m ³ /h (2.7±0.3m ³ /h)	2.1m ³ /h (2.1±0.3m ³ /h)	

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、原子炉注水量の設定幅を超えて流量を調整する場合にはお知らせする。

また、ホールドポイント3到達後の原子炉注水量および設定流量は現時点での想定であり、今後の水位低下操作実績や水位の変化状況を踏まえ変更になる可能性がある。変更となった場合は、お知らせする。

引き続き、変更した設定幅の範囲の中で随時水位調整しつつ、低下傾向および関連パラメータについて監視していく。

・ホールドポイント3に向けた水位低下開始以降、原子炉格納容器の水位低下傾向を監視しつつ、原子炉注水量を設定幅の2.1±0.3m³/hの範囲で調整し、原子炉注水量を2.1m³/hに設定している。

6月29日、午後4時10分、1号機原子炉格納容器バブラ式水位計の指示値がホールドポイント3以下になったことから、原子炉格納容器水位がホールドポイント3に到達したと判断した。午後5時54分、ホールドポイント3の水位を維持した状態で、水位低下による各プラントパラメータへの影響を確認するため、原子炉注水量を以下の通り変更した。

この間、水位維持傾向を監視しつつ、以下の設定幅の中で随時調整する。

なお、ホールドポイント3の水位はペDESTAL内にある堆積物の気相露出が進む水位であることから、慎重に確認作業を進めるため水位維持期間を約1カ月程度予定している。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	6月29日 注水量変更前	6月29日 注水量変更後	ホールドポイント3 到達後(当初予定)
	2.1m ³ /h (2.1±0.3m ³ /h)	2.6m ³ /h (2.6±0.3m ³ /h)	

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、原子炉注水量の設定幅を超えて流量を調整する場合にはお知らせする。

引き続き、設定幅の範囲の中で随時水位調整しつつ、低下傾向および関連パラメータについて監視していく。

・6月29日に原子炉格納容器水位がホールドポイント3に到達以降、水位を維持した状態で水位低下によるプラントパラメータへの影響を確認し、異常が確認されなかったことから、ホールドポイント4(圧力抑制室底部から約6.7m)に向けた水位低下のため、7月29日、午前10時34分、下記の通り原子炉注水量を変更した。

この間、水位低下傾向を監視しつつ、下記の設定幅の中で随時調整する。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	7月29日 注水量変更前	7月29日 注水量変更後	ホールドポイント4 到達後
	2.7m ³ /h (2.6±0.3m ³ /h)	2.1m ³ /h (2.1±0.3m ³ /h)	

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、原子炉注水量の設定幅を超えて流量を調整する場合にはお知らせする。

また、ホールドポイント4到達後の原子炉注水量および設定流量は現時点での想定であり、今後の水位低下操作実績や水位の変化状況を踏まえ変更になる可能性がある。変更となった場合は、お知らせする。引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。

7月29日以降、ホールドポイント4(圧力抑制室底部から約6.7m)に向けた注水量変更により水位低下を開始していたが、8月14日頃より水位低下がほぼ横ばいになったことから、8月22日に注水量を2.1m³/hから1.8m³/hに変更したが、その後も水位の低下は確認されなかった。

このことから、原子炉格納容器からの漏えいの多くはドライウエル側にあり、圧力抑制室の水位にくらべドライウエルの水位が低い状況にあると推測。圧力抑制室とドライウエルの水位差を圧力抑制室の水位変化により確認するため、8月30日、午前10時11分、下記の通り原子炉注水量を増加させた。

圧力抑制室の水位変化確認後、確認前の注水量に戻す。

<原子炉注水変更>

原子炉注水量 (設定幅)	8月30日 注水量変更前	8月30日 注水量変更後	水位変化確認後 到達後
	1.8m ³ /h (2.1±0.3m ³ /h)	3.0m ³ /h	

・8月31日、午前11時27分、圧力抑制室の水位変化により、水位差の状況が確認できたため、注水量を3.0m³/hから確認前の注水量1.8m³/hに戻した。

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視していく。

今後のプラント安定維持を目的に、原子炉注水量を冷却に必要な運用上の最低流量(1.4m³/h)に変更した場合における、原子炉格納容器や滞留水への影響を確認するため、下記の通り原子炉注水量を変更した。

(9月10日の原子炉注水量変更:1.8m³/h→1.4m³/h)

なお、原子炉格納容器や滞留水への影響が確認され、変更前の原子炉注水量に変更した場合には、お知らせする。

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視していく。

・1号機使用済燃料プール循環冷却系については、制御装置が多重化(A系/B系)されており、そのうち制御装置(A系)の電源装置が故障したことから、交換を行った。制御装置(A系)を使用可能な状態にするための復旧作業に伴い、一時的に下記期間、当該設備の運転を停止する。

(8月29日)午前10時～午後0時

8月28日午前5時現在の1号機使用済燃料プール水温度は、33.4℃であり、放熱を考慮し、停止期間終了時点で約33.5℃と評価している。

なお、制御装置については、制御装置(B系)に自動切換えされた為、使用済燃料プールの冷却に影響はない。

8月29日下記のとおり停止および起動操作を行った。

(停止:午前10時8分)

(起動:午前10時44分)

起動後の運転状態については、異常のないことを確認している。また、使用済燃料プール水温度は、33.1℃(停止時33.1℃)。

引き続き、関連パラメータについて慎重に監視していく。

・1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系は、一次系ポンプ(B系)及び計装品の定例点検に伴い、12月3日から10日間程度、一次系ポンプの運転を停止予定。
12月2日午前11時時点のSFP水温度は23.7℃。10日間の停止後で約30℃と評価しており、運転上の制限である60℃に到達しないことを確認している。
12月3日午前10時46分、SFP循環冷却系の運転を停止。冷却停止時のSFP水温度は23.7℃。
1号機使用済燃料プール(以下、「SFP」という)循環冷却系は、一次系ポンプ(B系)及び計装品の定例点検に伴い、12月3日午前10時46分から一次系ポンプの運転を停止中。冷却停止時のSFP水温度は23.7℃。
当初の計画では運転停止期間は10日間程度と見込んでいたが、作業エリアが狭隘かつ 雰囲気線量が高いことから作業を慎重に進めており、運転停止期間を12月20日頃まで延長する。
12月20日まで運転を停止した場合のSFP評価水温は約32.9℃となっており、運転上の制限である60℃までは大きな余裕があることを確認している。
(12月16日午前11時時点のSFP評価水温は31.1℃)
予定していた作業が完了したことから、12月20日午前11時5分、一次系ポンプの運転を再開。冷却再開後のSFP水温度は31.0℃。運転状態について異常がないことを確認。
なお、定例点検全体は2カ月程度を予定しており、点検期間中に再度一次系ポンプの停止を計画している。その際は改めてお知らせする。

2号機

・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、冬季の原子炉注水温度の低下に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(1月9日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→1.3 m³/h)
引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいる。
1月9日午前10時11分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(1月9日の原子炉注水量変更:1.5 m³/h→1.3 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視してまいる。
・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。
今回、春季の注水源温度の上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(3月21日の原子炉注水量変更予定:1.3 m³/h→1.5 m³/h)
引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいる。
3月21日午前9時26分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(3月21日の原子炉注水量変更:1.3 m³/h→1.5 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
引き続き、慎重に監視してまいる。
・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリ

の冷却に必要な注水量が変わる。
今回、夏季の原子炉注水温度上昇に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。
(6月28日の原子炉注水量変更予定:1.5 m³/h→1.6 m³/h)
6月28日午前9時17分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。
(6月28日の原子炉注水量変更:1.5 m³/h→1.6 m³/h)
関連パラメータについては、異常のないことを確認。
引き続き、慎重に監視していく。
・8月9日午後1時5分頃、2号機の使用済燃料プールのスキマサージタンクの水位が低下していることを確認。使用済燃料プールの水位については、低下していないことを確認。原因調査のため、午後4時20分に使用済燃料プール冷却系一次系ポンプを停止することとした。午後4時36分、使用済燃料プール冷却系一次系ポンプを停止した。
午後4時46分の2号機使用済燃料プール冷却設備のプール水温度は34.5℃。
ポンプ停止中の2号機使用済燃料プール冷却設備のプール水温度評価については、運転上の制限である65℃に到達しないことを確認している。
なお、温度の初期上昇は0.06℃/h程度、プール水温度は最大で46℃程度と評価している。
原因調査の結果、既設の使用済燃料プール冷却浄化系熱交換器室内の配管から水が漏れていることを確認。今後、漏えい箇所の修復を進める。

2号機使用済燃料プール水温度上昇予測の評価値は8月19日午前11時現在:約42.9℃。

8月20日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約43℃)
8月21日午前11時現在:約43.8℃。(参考:実測値は約44℃)
8月22日午前11時現在:約44.2℃。(参考:実測値は約45℃)
8月23日午前11時現在:約44.6℃。(参考:実測値は約45℃)
8月24日午前11時現在:約44.9℃。(参考:実測値は約46℃)
8月25日午前11時現在:約45.1℃。(参考:実測値は約46℃)
8月26日午前11時現在:約45.4℃。(参考:実測値は約46℃)
8月27日午前11時現在:約45.6℃。(参考:実測値は約47℃)
8月28日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約47℃)
8月29日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約48℃)
8月30日午前11時現在:約46.1℃。(参考:実測値は約48℃)
8月31日午前11時現在:約46.2℃。(参考:実測値は約48℃)
9月1日午前11時現在:約46.3℃。(参考:実測値は約48℃)
9月2日午前11時現在:約46.2℃。(参考:実測値は約48℃)
9月3日午前11時現在:約46.2℃。(参考:実測値は約48℃)
9月4日午前11時現在:約46.1℃。(参考:実測値は約48℃)
9月5日午前11時現在:約46.1℃。(参考:実測値は約48℃)
9月6日午前11時現在:約46.0℃。(参考:実測値は約48℃)
9月7日午前11時現在:約46.0℃。(参考:実測値は約48℃)

9月8日午前11時現在:約46.0℃。(参考:実測値は約48℃)
9月9日午前11時現在:約46.0℃。(参考:実測値は約49℃)
9月10日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約49℃)
9月11日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約49℃)
9月12日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約49℃)
9月13日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約49℃)
9月14日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約49℃)
9月15日午前11時現在:約45.9℃。(参考:実測値は約50℃)
9月16日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月17日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月18日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月19日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月20日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月21日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月22日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月23日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月24日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約50℃)
9月25日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約49℃)
9月26日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約49℃)
9月27日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約49℃)
9月28日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約49℃)
9月29日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約49℃)
9月30日午前11時現在:約45.8℃。(参考:実測値は約49℃)
10月1日午前11時現在:約45.7℃。(参考:実測値は約49℃)
10月2日午前11時現在:約45.4℃。(参考:実測値は約49℃)
10月3日午前11時現在:約45.2℃。(参考:実測値は約49℃)
10月4日午前11時現在:約45.0℃。(参考:実測値は約48℃)
10月5日午前11時現在:約44.8℃。(参考:実測値は約48℃)
10月6日午前11時現在:約44.8℃。(参考:実測値は約48℃)
10月7日午前11時現在:約44.5℃。(参考:実測値は約48℃)
10月8日午前11時現在:約44.4℃。(参考:実測値は約49℃)
※10月7日に水温計を交換し、新水温計で測定
10月9日午前11時現在:約44.3℃。(参考:実測値は約49℃)
10月10日午前11時現在:約44.2℃。(参考:実測値は約49℃)
10月11日午前11時現在:約44.1℃。(参考:実測値は約49℃)
10月12日午前11時現在:約44.0℃。(参考:実測値は約49℃)
10月13日午前11時現在:約43.9℃。(参考:実測値は約49℃)
10月14日午前11時現在:約43.8℃。(参考:実測値は約49℃)

10月15日午前11時現在:約43.8℃。(参考:実測値は約49℃)
10月16日午前11時現在:約43.7℃。(参考:実測値は約49℃)
10月17日午前11時現在:約43.7℃。(参考:実測値は約49℃)
10月18日午前11時現在:約43.7℃。(参考:実測値は約49℃)
10月19日午前11時現在:約43.6℃。(参考:実測値は約49℃)
10月20日午前11時現在:約43.5℃。(参考:実測値は約49℃)
10月21日午前11時現在:約43.5℃。(参考:実測値は約49℃)
10月22日午前11時現在:約43.5℃。(参考:実測値は約49℃)
10月23日午前11時現在:約43.5℃。(参考:実測値は約49℃)
10月24日午前11時現在:約43.5℃。(参考:実測値は約49℃)
10月25日午前11時現在:約43.5℃。(参考:実測値は約49℃)
10月26日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約49℃)
10月27日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約49℃)
10月28日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約49℃)
10月29日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約48℃)
10月30日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約48℃)
10月31日午前11時現在:約43.4℃。(参考:実測値は約48℃)
11月1日午前11時現在:47.1℃。(参考:11月1日にデジタル式水温計を運用開始し、実測値を正式水温とする運用に変更)
11月2日午前11時現在:47.1℃。
11月3日午前11時現在:47.1℃。
11月4日午前11時現在:47.0℃。
11月5日午前11時現在:46.6℃。
11月6日午前11時現在:46.6℃。
11月7日午前11時現在:46.6℃。
11月8日午前11時現在:46.4℃。
11月9日午前11時現在:46.3℃。
11月10日午前11時現在:46.1℃。
11月11日午前11時現在:46.1℃。
11月12日午前11時現在:45.7℃。
11月13日午前11時現在:45.6℃。
11月14日午前11時現在:45.6℃。
11月15日午前11時現在:45.5℃。
11月16日午前11時現在:45.4℃。
11月17日午前11時現在:45.4℃。
11月18日午前11時現在:45.1℃。
11月19日午前11時現在:44.6℃。
11月20日午前11時現在:43.2℃

11月21日午前11時現在:40.8°C

11月22日午前11時現在:40.7°C

11月23日午前11時現在:40.8°C

11月24日午前11時現在:40.6°C

その後の調査で、水位低下の原因は原子炉建屋3階の配管の破損による水漏れであると判明したため、破損箇所を修復するとともに、万が一再び不具合が起きた場合に備え、代替冷却ラインの構築工事を行ってきた。

修復及び構築工事が完了し、冷却再開の準備が整ったことから、11月25日午前10時8分に一次系ポンプの運転を再開し、その後、運転状態に異常がないことを確認し、午後1時22分、使用済燃料プールの循環冷却を再開した。

運転再開後の使用済燃料プール水温度は、40.5°C。

・2号機燃料デブリの試験的取り出し作業において、テレスコ式装置操作用カメラ映像の視認性を向上させるため、2号機の原子炉注水を一時的に停止する。

作業後、原子炉注水量を1.6m³/h戻す。なお、原子炉注水の一時停止は断続的に数回行う予定。

(2号機の原子炉注水量変更予定:①1.6m³/h→②0m³/h→③1.6m³/h)

①原子炉注水一時停止前 ②原子炉注水一時停止時 ③原子炉注水再開後一時停止の実績については、別途お知らせする。

9月14日午前5時32分、2号機燃料デブリの試験的取り出し作業に伴い、原子炉注水を一時停止し、午後0時12分に注水を再開した。

(14日の原子炉注水量変更実績:①1.6m³/h→②0m³/h→③1.6m³/h)

引き続き、関連パラメータについて慎重に監視していく。

9月17日午前5時12分、2号機燃料デブリの試験的取り出し作業に伴い、原子炉注水を一時停止し、午後3時43分に注水を再開した。

(17日の原子炉注水量変更実績:①1.6m³/h→②0m³/h→③1.6m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、慎重に監視していく。

・2号機の原子炉注水設備においては、季節による原子炉注水の温度変動に伴い、燃料デブリの冷却に必要な注水量が変わる。

今回、秋季の原子炉注水温度の低下に伴い、2号機の原子炉注水量を下記の通り変更する。

(10月17日の原子炉注水量変更予定:1.6m³/h→1.5m³/h)

10月17日午前10時16分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

(10月17日の原子炉注水量変更:1.6m³/h→1.5m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

引き続き、慎重に監視していく。

・2号機燃料デブリの試験的取り出し作業において、テレスコ式装置操作用カメラ映像の視認性を向上させるため、2号機の原子炉注水を一時的に停止する。

作業後、原子炉注水量を1.5m³/hに戻す。

(2号機の原子炉注水量変更予定:①1.5m³/h→②0m³/h→③1.5m³/h)

①原子炉注水一時停止前 ②原子炉注水一時停止時 ③原子炉注水再開後一時停止の実績については、別途お知らせする。

10月30日午前6時6分、2号機燃料デブリの試験的取り出し作業に伴い、原子炉注水を一時停止し、午後1時52分に注水を再開した。

(30日の原子炉注水量変更実績:①1.5m³/h→②0m³/h→③1.5m³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。引き続き、関連パラメータについて慎重に監視していく。

3号機

・3号機において、2023年12月から2024年3月にかけて原子炉格納容器ガス管理設備の排気ファン上流で酸素濃度を測定したところ、約2~3%の酸素を検出。

原子炉格納容器内は窒素封入により不活性状態を維持しており、今回の検出値からもその効果は確認できているが、原子炉格納容器内にも同程度の酸素が存在している可能性があるため、酸素濃度をより低減し、さらなる原子炉格納容器内の機器保全ならびに環境維持に繋げることを目的に、原子炉格納容器窒素封入量を以下のとおり変更する。

<3号機窒素封入量変更>

(4月19日)

窒素封入量:16Nm³/h→19Nm³/h

窒素封入量変更後も、酸素濃度を確認する。

4月19日、午前10時31分、原子炉格納容器窒素封入量を以下のとおり変更した。

(窒素封入量変更:16.0Nm³/h→17.2Nm³/h)

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、窒素封入量は酸素濃度の傾向を確認しつつ変更する可能性がある。再度、窒素封入量を変更する場合は、事前にお知らせする。

引き続き、慎重に監視してまいる。

・3号機においては、原子炉格納容器内の酸素濃度をより低減し、さらなる機器保全ならびに環境維持に繋げることを目的に、原子炉圧力容器ラインからの窒素封入量の変更を4月19日に実施している。

目標:16Nm³/h→19Nm³/h

実績:16Nm³/h→17.2Nm³/h

原子炉圧力容器ラインに加え、新たに原子炉格納容器ラインからも窒素を封入することで、合計流量を19Nm³/hとすることを目標として、原子炉格納容器窒素封入量を以下のとおり変更する。

<3号機窒素封入量変更予定>

(4月24日)

窒素封入量:17.2Nm³/h→19.0Nm³/h

[内訳]原子炉圧力容器ライン:17.2Nm³/h→13.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 0.0Nm³/h→ 6.0Nm³/h

なお、4月19日の窒素封入量変更前後において、酸素濃度を確認しており、結果は以下のとおり。引き続き、酸素濃度を確認する。

<原子炉格納容器ガス管理設備の排気ファン上流 酸素濃度測定結果>

2023年12月から2024年3月 約2~3%

(4月19日)0.8%

(4月22日)0.9%

今後も、窒素封入量は酸素濃度等の傾向を確認しつつ変更する可能性がある。再度、窒素封入量を変更する場合は、事前にお知らせする。

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。

4月24日、所内電源A系停止の発生に伴い延期する。変更後の実施日については、確定次第お知らせする。

・3号機においては、原子炉格納容器内の酸素濃度をより低減し、さらなる機器保全ならびに環境維持に繋げることを目的に、原子炉格納容器窒素封入量を4月24日に変更する予定だったが、所内電源A系停止に伴い延期している。

延期していた原子炉格納容器窒素封入量の変更日が確定したことから、以下のとおりお知らせする。

<3号機窒素封入量変更予定>

(5月9日)

窒素封入量: 17.2Nm³/h→19.0Nm³/h

[内訳]原子炉圧力容器ライン: 17.2Nm³/h→13.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 0.0Nm³/h→ 6.0Nm³/h

5月9日、午前10時40分、3号機原子炉格納容器窒素封入量を以下のとおり変更した。

窒素封入量: 16.0 Nm³/h→19.0 Nm³/h (窒素封入量は、計画的な窒素ガス分離装置の運転号機切替の影響に伴い、17.2Nm³/hから16.0Nm³/hまで減少している)

[内訳]原子炉圧力容器ライン: 16.0Nm³/h→13.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 0.0Nm³/h→ 6.0Nm³/h

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

なお、窒素封入量は酸素濃度等の傾向を確認しつつ変更する可能性がある。再度、窒素封入量を変更する場合は、事前にお知らせする。

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視してまいります。

・3号機原子炉格納容器においては、事故時に発生したガス(水素等)が圧力抑制室に滞留しており、水素燃焼に至るリスクを低減することを目的に、2023年12月19日から、滞留ガスのパージ(掃気)作業を行っている。

パージ作業は圧力抑制室内の滞留ガスを原子炉格納容器内に送気し、原子炉格納容器内に封入している窒素ガスで滞留ガスを希釈し、原子炉格納容器ガス管理設備で排気のパラメータを監視している。水素燃焼に至るリスクを可能な限り早期に低減することを目的に、窒素封入量および排気量を段階的に2回に分けて増加させる。これにより、滞留ガスの希釈を早め、ガスパージ作業により上昇した原子炉格納容器水素濃度の低減効率の向上に伴い、滞留ガスのパージ量を増加させる。

1回目の増加として、原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量を

以下の通り変更する。

<3号機窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量変更予定>
(6月17日)

窒素封入量: 19Nm³/h→22Nm³/h

排気量 : 22Nm³/h→25Nm³/h

6月17日、午前11時50分、以下のとおり1回目の増加として、3号機原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量を変更した。

<3号機窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量変更>

窒素封入量: 19Nm³/h→22Nm³/h

排気量 : 22Nm³/h→25Nm³/h

関連パラメータについては、異常のないことを確認。

引き続き、慎重に監視してまいります。

なお、2回目の増加については今後お知らせする。

・3号機原子炉格納容器においては、事故時に発生したガス(水素等)が圧力抑制室に滞留しており、水素燃焼に至るリスクを低減することを目的に、2023年12月19日から、滞留ガスのパージ(掃気)作業を行っている。

パージ作業は圧力抑制室内の滞留ガスを原子炉格納容器内に送気し、原子炉格納容器内に封入している窒素ガスで滞留ガスを希釈し、原子炉格納容器ガス管理設備で排気のパラメータを監視している。水素燃焼に至るリスクを可能な限り早期に低減することを目的に、窒素封入量および排気量を段階的に2回に分けて増加させる。これにより、滞留ガスの希釈を早め、ガスパージ作業により上昇した原子炉格納容器水素濃度の低減効率の向上に伴い、滞留ガスのパージ量を増加させる。

6月17日に1回目の増加操作を行い、関連パラメータについて異常が見られなかったことから、2回目の増加として、原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量を以下の通り変更する。

<3号機窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量変更予定>
(6月24日)

窒素封入量: 22Nm³/h→24Nm³/h

排気量 : 25Nm³/h→27Nm³/h

6月24日2回目の原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量の増加操作を実施したが、排気量が予定していた値に上昇しなかったことから増加操作を中止した。

今後、原因調査を実施し、今後の対応を検討する。

なお、現在の原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量は増加操作前の値に戻している。

<現在の3号機窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量>

窒素封入量: 22Nm³/h

排気量 : 25Nm³/h

6月24日に2回目の増加として、原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量の増加操作を実施したところ、排気量が予定していた値に上昇しなかったことから増加操作を中止し、原因を調査していた。

その後、原因調査および対策検討が終了したことから、2回目の増加として、原子炉格納容器窒

素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量を以下のとおり変更する。

<3号機窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量変更予定>

(7月11日)

窒素封入量:22Nm³/h→24Nm³/h

排気量 :25Nm³/h→27Nm³/h

7月11日に2回目の原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量の増加操作を実施したが、排気量が予定していた値に上昇しなかったことから増加操作を中止した。今後、原因調査を実施し、今後の対応を検討する。

なお、現在の原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量は増加操作前の値に戻しており、関連パラメータについては、異常のないことを確認している。

<現在の3号機窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量>

窒素封入量:22Nm³/h

排気量 :25Nm³/h

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。

・3号機原子炉格納容器においては、事故時に発生したガス(水素等)が圧力抑制室に滞留しており、水素燃焼に至るリスクを低減することを目的に、2023年12月19日から、滞留ガスのパージ(掃気)作業を行っている。

パージ作業は圧力抑制室内の滞留ガスを原子炉格納容器内に送気し、原子炉格納容器内に封入している窒素ガスで滞留ガスを希釈し、原子炉格納容器ガス管理設備で排気のパラメータを監視している。水素燃焼に至るリスクを可能な限り早期に低減することを目的に、窒素封入量および排気量を段階的に2回に分けて増加させる。これにより、滞留ガスの希釈を早め、ガスパージ作業により上昇した原子炉格納容器水素濃度の低減効率の向上に伴い、滞留ガスのパージ量を増加させることを試みている。

6月24日に2回目の増加として、原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量の増加操作を実施したところ、排気量が予定していた値に上昇しなかったことから増加操作を中止し、原因を調査していた。

その後、原因調査および対策検討が終了したことから、7月11日に、2回目の増加操作を行ったが、排気量が予定していた値に上昇しなかった。

改めて、対策を実施したうえで、2回目の増加として、原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量を以下のとおり変更する。なお、排気量が予定していた値に上昇しなかった場合は、窒素封入量および排気量は操作前の値に戻す。

<3号機窒素封入量及び原子炉格納容器ガス管理設備排気量変更予定>

(7月24日)

窒素封入量:22Nm³/h→24Nm³/h

排気量 :25Nm³/h→27Nm³/h

7月24日に2回目の原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量の増加操作を実施したが、排気量が予定していた値に上昇しなかったことから増加操作を中止した。なお、現在の原子炉格納容器窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量は増加操作前の値に戻しており、関連パラメータについては、異常のないことを確認している。

<現在の3号機窒素封入量および原子炉格納容器ガス管理設備排気量>

窒素封入量:22Nm³/h

排気量 :25Nm³/h

引き続き、関連パラメータについて、慎重に監視していく。

・3号機の原子炉建屋に装備交換エリアを新しく整備するにあたり干渉する不要物品等の撤去を行う予定。

3号機の窒素封入設備の原子炉格納容器ラインのホースが撤去する不要物品等の上部を通っていることから、撤去作業に干渉しないように整線作業を行う。

整線作業に伴い、原子炉格納容器ラインからの封入を停止することから、下記の期間、原子炉格納容器窒素封入量を以下の通り変更する。

<3号機窒素封入量変更予定>

(9月30日)整線作業前

原子炉圧力容器ライン:13.0Nm³/h→16.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 9.0Nm³/h→ 0.0Nm³/h

(10月4日)整線作業後

原子炉圧力容器ライン:16.0Nm³/h→13.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 0.0Nm³/h→ 9.0Nm³/h

<3号機窒素封入量変更実績>

(9月30日午前10時32分)

原子炉圧力容器ライン:13.0Nm³/h→16.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 9.0Nm³/h→ 0.0Nm³/h

<3号機窒素封入量変更実績>

(10月4日午前10時12分)

原子炉圧力容器ライン:16.0Nm³/h→13.0Nm³/h

原子炉格納容器ライン: 0.0Nm³/h→ 9.0Nm³/h

関連パラメータについては、異常のないことを確認した。

引き続き、慎重に監視していく。

4号機

現時点での特記事項なし

5号機

※5号機は使用済燃料プール冷却浄化系-残留熱除去系出口連絡弁点検のため、2月28日午後2時21分に使用済燃料プール冷却を停止した。冷却停止時の使用済燃料プール水温度は17.8℃。5号機使用済燃料プール冷却浄化系-残留熱除去系出口連絡弁点検が終了したことから、3月5日午後2時25分、使用済燃料プール冷却の運転を再開。運転再開後の使用済燃料プール水温度は33.2℃。運転状態について異常がないことを確認。

・5号機は使用済燃料プール冷却浄化系他計装品点検に伴い、6月17日午前10時16分に使用済燃料プール冷却浄化系によるプール冷却を停止した。冷却停止時の使用済燃料プール水温度は22.2℃。

6月17日午後16時に残留熱除去系非常時熱負荷モードでの5号機使用済燃料プールの冷却を再開。冷却再開時の使用済燃料プール温度は23.7℃。

6号機

※6号機は使用済燃料プールのサイフォン防止対策工事のため、1月15日午前10時38分に使用済燃料プール冷却を停止した。冷却停止時の使用済燃料プール水温度は19.8℃。

6号機使用済燃料プールのサイフォン防止対策工事が終了したことから、1月16日午後2時39分、使用済燃料プール冷却の運転を再開。運転再開後の使用済燃料プール水温度は23.5℃。運転状態について異常がないことを確認。

・6号機は使用済燃料プール冷却浄化系の計装品および弁点検のため、3月13日午後0時41分に使用済燃料プール冷却を停止した。冷却停止時の使用済燃料プール水温度は22.4℃。

・6号機使用済燃料プール冷却浄化系の計装品および弁点検が終了したことから、3月15日午後0時8分、使用済燃料プール冷却の運転を再開。運転再開後の使用済燃料プール水温度は27.4℃。運転状態について異常がないことを確認。

・6号機使用済燃料プールは使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)のトリップにより冷却を停止している。

水処理装置および貯蔵設備の状況

【タンクパトロール結果】

現時点での特記事項なし

【H4, H6エアータンクにおける水漏れに関するサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【地下貯水槽に関する水のサンプリング結果】

現時点での特記事項なし

【セシウム除去設備】

現時点での特記事項なし

【多核種除去設備(ALPS)】

現時点での特記事項なし

【増設多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【高性能多核種除去設備】

現時点での特記事項なし

【淡水化装置】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮水処理設備】

現時点での特記事項なし

【RO濃縮廃液タンク水処理設備】

現時点での特記事項なし

【その他】

現時点での特記事項なし

サブドレン他水処理施設

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

- ・一時貯水タンクE 1月1日午前10時37分～午後2時35分。排水量590m³
- ・一時貯水タンクF 1月3日午前10時30分～午後4時8分。排水量838m³
- ・一時貯水タンクG 1月5日午前10時30分～午後3時0分。排水量671m³
- ・一時貯水タンクA 1月7日午前10時18分～午後1時54分。排水量537m³
- ・一時貯水タンクB 1月9日午前10時30分～午後3時1分。排水量671m³
- ・一時貯水タンクC 1月11日午前10時22分～午後1時40分。排水量492m³
- ・一時貯水タンクD 1月13日午前11時57分～午後3時32分。排水量534m³
- ・一時貯水タンクE 1月16日午前10時23分～午後2時3分。排水量545m³
- ・一時貯水タンクF 1月17日午前10時17分～午後1時48分。排水量520m³
- ・一時貯水タンクG 1月19日午前10時28分～午後1時31分。排水量454m³
- ・一時貯水タンクH 1月21日午前11時19分～午後2時7分。排水量417m³
- ・一時貯水タンクC 1月26日午前10時44分～午後2時33分。排水量569m³
- ・一時貯水タンクD 1月27日午前10時36分～午後2時35分。排水量591m³
- ・一時貯水タンクB 1月30日午前10時22分～午後1時。排水量390m³
- ・一時貯水タンクE 1月31日午前11時54分～午後4時50分。排水量605m³
- ・一時貯水タンクG 2月2日午前10時12分～午後5時3分。排水量1,021m³
- ・一時貯水タンクF 2月3日午前11時46分～午後2時40分。排水量432m³
- ・一時貯水タンクH 2月4日午前10時31分～午後4時。排水量818m³
- ・一時貯水タンクA 2月6日午前11時12分～午後5時52分。排水量996m³
- ・一時貯水タンクB 2月8日午前10時48分～午後5時31分。排水量1,003m³
- ・一時貯水タンクC 2月10日午前10時42分～午後4時41分。排水量892m³
- ・一時貯水タンクK 2月11日午前10時15分～午前3時13分。排水量741m³
- ・一時貯水タンクD 2月12日午前11時29分～午前4時47分。排水量792m³
- ・一時貯水タンクE 2月15日午前11時4分～午前3時37分。排水量678m³
- ・一時貯水タンクJ 2月16日午後1時28分～午後6時40分。排水量776m³
- ・一時貯水タンクA 2月18日午前10時39分～午後3時57分。排水量790m³
- ・一時貯水タンクB 2月20日午前11時3分～午後3時54分。排水量725m³
- ・一時貯水タンクC 2月23日午前10時14分～午後2時56分。排水量703m³
- ・一時貯水タンクD 2月24日午前10時51分～午後1時59分。排水量467m³
- ・一時貯水タンクE 2月27日午前10時22分～午後2時18分。排水量586m³
- ・一時貯水タンクJ 2月29日午前10時50分～午後2時16分。排水量511m³
- ・一時貯水タンクA 3月1日午前10時25分～午後2時20分。排水量585m³
- ・一時貯水タンクB 3月3日午前11時9分～午後4時12分。排水量751m³

・一時貯水タンクC 3月5日午前10時14分～午後2時58分。排水量704m³
・一時貯水タンクD 3月7日午前11時3分～午後4時12分。排水量767m³
・一時貯水タンクF 3月9日午前11時～午後2時40分。排水量544m³
・一時貯水タンクJ 3月10日午前10時13分～午後2時59分。排水量710m³
・一時貯水タンクK 3月12日午前10時43分～午後3時35分。排水量724m³
・一時貯水タンクB 3月14日午前10時41分～午後2時55分。排水量631m³
・一時貯水タンクC 3月18日午前10時32分～午後5時6分。排水量979m³
・一時貯水タンクD 3月20日午前10時34分～午後5時16分。排水量999m³
・一時貯水タンクF 3月21日午前10時43分～午後5時23分。排水量994m³
・一時貯水タンクJ 3月23日午前11時39分～午後6時10分。排水量970m³
・一時貯水タンクK 3月24日午前11時26分～午後3時3分。排水量538m³
・一時貯水タンクG 3月25日午前10時36分～午後2時38分。排水量601m³
・一時貯水タンクC 3月26日午後0時39分～午後7時24分。排水量1,006m³
・一時貯水タンクH 3月27日午前10時47分～午後2時34分。排水量563m³
・一時貯水タンクD 3月29日午前10時52分～午後5時12分。排水量944m³
・一時貯水タンクF 3月30日午後12時7分～午後6時20分。排水量927m³
・一時貯水タンクL 3月31日午前11時15分～午後2時10分。排水量432m³
・一時貯水タンクK 4月1日午前10時33分～午後3時45分。排水量774m³
・一時貯水タンクB 4月3日午前10時59分～午後4時43分。排水量854m³
・一時貯水タンクC 4月4日午前10時20分～午後2時21分。排水量596m³
・一時貯水タンクD 4月6日午前11時00分～午後5時38分。排水量991m³
・一時貯水タンクE 4月8日午前10時49分～午後3時40分。排水量721m³
・一時貯水タンクF 4月9日午前10時20分～午後5時2分。排水量998m³
・一時貯水タンクG 4月10日午前9時58分～午後4時39分。排水量996m³
・一時貯水タンクB 4月12日午前11時3分～午後3時44分。排水量697m³
・一時貯水タンクH 4月12日午前10時25分～午後5時11分。排水量1,009m³
・一時貯水タンクJ 4月13日午前10時46分～午後5時30分。排水量1,004m³
・一時貯水タンクC 4月14日午前10時41分～午後3時16分。排水量682m³
・一時貯水タンクD 4月16日午前10時35分～午後4時55分。排水量945m³
・一時貯水タンクE 4月17日午前11時38分～午後4時56分。排水量793m³
・一時貯水タンクF 4月17日午前10時35分～午後3時51分。排水量785m³
・一時貯水タンクG 4月20日午前10時23分～午後4時1分。排水量839m³
・一時貯水タンクH 4月21日午前10時～午後4時45分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクK 4月22日午前10時23分～午後5時5分。排水量1,000m³
・一時貯水タンクC 4月22日午前10時5分～午後3時12分。排水量761m³
・一時貯水タンクD 4月24日午後6時49分～午後11時52分。排水量751m³
・一時貯水タンクE 4月25日午前10時51分～午後4時28分。排水量838m³
・一時貯水タンクF 4月26日午前10時28分～午後5時13分。排水量1,007m³
・一時貯水タンクB 4月27日午前10時31分～午後4時17分。排水量859m³
・一時貯水タンクG 4月28日午前10時38分～午後3時12分。排水量679m³
・一時貯水タンクH 4月29日午前10時6分～午後3時25分。排水量791m³

・一時貯水タンクC 4月30日午前10時20分～午後3時40分。排水量795m³
・一時貯水タンクA 5月1日午前10時55分～午後3時39分。排水量705m³
・一時貯水タンクD 5月2日午前10時19分～午後1時39分。排水量495m³
・一時貯水タンクE 5月3日午前10時48分～午後2時37分。排水量566m³
・一時貯水タンクF 5月4日午前10時33分～午後2時43分。排水量621m³
・一時貯水タンクJ 5月5日午前9時47分～午後1時17分。排水量519m³
・一時貯水タンクG 5月6日午前9時53分～午後1時22分。排水量517m³
・一時貯水タンクH 5月8日午前11時26分～午後2時24分。排水量442m³
・一時貯水タンクK 5月8日午前11時44分～午後2時37分。排水量428m³
・一時貯水タンクL 5月9日午前10時24分～午後1時22分。排水量439m³
・一時貯水タンクC 5月10日午前10時24分～午後0時57分。排水量378m³
・一時貯水タンクD 5月11日午前10時33分～午後0時52分。排水量343m³
・一時貯水タンクE 5月12日午後2時18分～午後4時31分。排水量330m³
・一時貯水タンクF 5月13日午前11時26分～午後1時39分。排水量329m³
・一時貯水タンクG 5月14日午前10時28分～午後1時21分。排水量429m³
・一時貯水タンクK 5月16日午前10時19分～午後2時2分。排水量552m³
・一時貯水タンクC 5月18日午前10時58分～午後1時31分。排水量378m³
・一時貯水タンクD 5月19日午前10時30分～午後0時45分。排水量332m³
・一時貯水タンクL 5月20日午前11時10分～午後1時54分。排水量404m³
・一時貯水タンクE 5月20日午前11時38分～午後1時54分。排水量335m³
・一時貯水タンクF 5月21日午前10時22分～午後1時10分。排水量415m³
・一時貯水タンクG 5月22日午前11時13分～午後2時42分。排水量517m³
・一時貯水タンクH 5月23日午前10時27分～午後2時13分。排水量560m³
・一時貯水タンクK 5月24日午前9時51分～午後1時27分。排水量535m³
・一時貯水タンクA 5月25日午前10時15分～午後1時50分。排水量534m³
・一時貯水タンクC 5月26日午前10時43分～午後2時24分。排水量547m³
・一時貯水タンクD 5月27日午前10時12分～午後1時48分。排水量535m³
・一時貯水タンクE 5月28日午前10時32分～午後1時36分。排水量455m³
・一時貯水タンクF 5月29日午前11時19分～午後2時4分。排水量410m³
・一時貯水タンクG 5月30日午前10時10分～午後0時56分。排水量412m³
・一時貯水タンクH 5月31日午前10時22分～午後1時8分。排水量411m³
・一時貯水タンクK 6月1日午前10時15分～午後12時55分。排水量397m³
・一時貯水タンクL 6月2日午前10時13分～午後0時38分。排水量360m³
・一時貯水タンクC 6月3日午前11時27分～午後1時57分。排水量373m³
・一時貯水タンクD 6月5日午前10時58分～午後1時24分。排水量358m³
・一時貯水タンクE 6月5日午前11時18分～午後1時40分。排水量350m³
・一時貯水タンクF 6月7日午前11時10分～午後1時59分。排水量420m³
・一時貯水タンクG 6月7日午前10時35分～午後1時50分。排水量483m³
・一時貯水タンクH 6月8日午前10時26分～午後2時27分。排水量600m³
・一時貯水タンクK 6月9日午前10時16分～午後2時10分。排水量579m³
・一時貯水タンクL 6月10日午前10時8分～午後1時17分。排水量470m³

・一時貯水タンクC 6月11日午前10時29分～午後1時27分。排水量441m³
・一時貯水タンクA 6月12日午前11時2分～午後1時55分。排水量427m³
・一時貯水タンクE 6月13日午前10時14分～午後1時7分。排水量428m³
・一時貯水タンクB 6月14日午前10時34分～午後1時16分。排水量402m³
・一時貯水タンクG 6月15日午前11時22分～午後2時14分。排水量425m³
・一時貯水タンクH 6月16日午前11時50分～午後2時47分。排水量440m³
・一時貯水タンクK 6月17日午前10時22分～午後1時21分。排水量441m³
・一時貯水タンクL 6月18日午前10時16分～午後1時3分。排水量414m³
・一時貯水タンクD 6月20日午前10時53分～午後0時54分。排水量377m³
・一時貯水タンクE 6月21日午前10時13分～午後0時53分。排水量396m³
・一時貯水タンクF 6月22日午前11時26分～午後2時9分。排水量402m³
・一時貯水タンクG 6月23日午前11時23分～午後1時58分。排水量384m³
・一時貯水タンクH 6月24日午前9時54分～午後0時25分。排水量374m³
・一時貯水タンクK 6月25日午前10時17分～午後1時11分。排水量431m³
・一時貯水タンクL 6月26日午前11時18分～午後2時37分。排水量492m³
・一時貯水タンクC 6月27日午前10時23分～午後1時38分。排水量484m³
・一時貯水タンクD 6月29日午前10時55分～午後2時4分。排水量468m³
・一時貯水タンクE 6月29日午前11時31分～午後2時22分。排水量425m³
・一時貯水タンクF 6月30日午前10時20分～午後0時47分。排水量363m³
・一時貯水タンクB 7月1日午前11時19分～午後1時49分。排水量369m³
・一時貯水タンクH 7月2日午前10時24分～午後0時56分。排水量375m³
・一時貯水タンクK 7月3日午前11時46分～午後2時16分。排水量371m³
・一時貯水タンクL 7月4日午前10時9分～午後0時24分。排水量333m³
・一時貯水タンクC 7月5日午前10時31分～午後0時54分。排水量352m³
・一時貯水タンクA 7月6日午前10時57分～午後1時22分。排水量359m³
・一時貯水タンクE 7月7日午前11時14分～午後1時31分。排水量340m³
・一時貯水タンクF 7月8日午前10時12分～午後0時29分。排水量336m³
・一時貯水タンクG 7月9日午前10時18分～午後0時34分。排水量336m³
・一時貯水タンクH 7月10日午前11時43分～午後1時55分。排水量327m³
・一時貯水タンクK 7月11日午前10時51分～午後0時59分。排水量316m³
・一時貯水タンクL 7月12日午前10時30分～午後0時40分。排水量320m³
・一時貯水タンクC 7月13日午前11時20分～午後1時23分。排水量302m³
・一時貯水タンクD 7月14日午前10時12分～午後0時16分。排水量306m³
・一時貯水タンクE 7月15日午後0時25分～午後2時27分。排水量302m³
・一時貯水タンクF 7月17日午前10時26分～午後0時26分。排水量297m³
・一時貯水タンクG 7月17日午前10時55分～午後0時57分。排水量301m³
・一時貯水タンクH 7月18日午前11時13分～午後1時7分。排水量283m³
・一時貯水タンクK 7月19日午前10時52分～午後0時50分。排水量289m³
・一時貯水タンクL 7月20日午前10時23分～午後0時32分。排水量317m³
・一時貯水タンクC 7月21日午前11時20分～午後1時40分。排水量344m³
・一時貯水タンクD 7月22日午前10時25分～午後0時43分。排水量339m³

・一時貯水タンクE 7月23日午前10時39分～午後1時14分。排水量383m³
・一時貯水タンクA 7月24日午後0時17分～午後2時57分。排水量397m³
・一時貯水タンクG 7月25日午前10時39分～午後2時20分。排水量548m³
・一時貯水タンクH 7月26日午前10時18分～午後2時14分。排水量585m³
・一時貯水タンクK 7月27日午前10時36分～午後2時15分。排水量543m³
・一時貯水タンクL 7月28日午前10時41分～午後1時50分。排水量468m³
・一時貯水タンクC 7月29日午前10時23分～午後1時22分。排水量442m³
・一時貯水タンクD 7月30日午前11時34分～午後2時32分。排水量440m³
・一時貯水タンクE 7月31日午前11時27分～午後2時8分。排水量397m³
・一時貯水タンクF 8月1日午前10時27分～午後1時16分。排水量419m³
・一時貯水タンクG 8月2日午前10時37分～午後1時28分。排水量425m³
・一時貯水タンクH 8月3日午後12時18分～午後2時57分。排水量393m³
・一時貯水タンクK 8月4日午前10時58分～午後1時24分。排水量360m³
・一時貯水タンクL 8月5日午前10時35分～午後1時3分。排水量366m³
・一時貯水タンクC 8月6日午前10時26分～午後0時43分。排水量338m³
・一時貯水タンクD 8月8日午前11時10分～午後1時26分。排水量337m³
・一時貯水タンクE 8月8日午前11時30分～午後1時58分。排水量366m³
・一時貯水タンクF 8月9日午前11時17分～午後2時18分。排水量449m³
・一時貯水タンクG 8月10日午前11時34分～午後2時12分。排水量391m³
・一時貯水タンクH 8月12日午前10時34分～午後2時45分。排水量624m³
・一時貯水タンクK 8月13日午前10時15分～午後0時47分。排水量376m³
・一時貯水タンクC 8月14日午前10時39分～午後1時57分。排水量491m³
・一時貯水タンクE 8月16日午前10時5分～午後3時17分。排水量774m³
・一時貯水タンクG 8月18日午前10時30分～午後3時38分。排水量764m³
・一時貯水タンクF 8月20日午前10時19分～午後2時47分。排水量665m³
・一時貯水タンクL 8月22日午前10時22分～午後2時27分。排水量608m³
・一時貯水タンクA 8月26日午前10時37分～午後3時8分。排水量671m³
・一時貯水タンクB 8月28日午前11時52分～午後4時32分。排水量695m³
・一時貯水タンクL 8月30日午前11時1分～午後3時32分。排水量671m³
・一時貯水タンクC 9月1日午前10時53分～午前10時55分。排水量3m³
・一時貯水タンクE*2 9月3日午後2時42分～午後7時2分。排水量645m³
・一時貯水タンクF 9月5日午前10時23分～午後0時41分。排水量338m³
・一時貯水タンクD 9月6日午前10時12分～午後2時11分。排水量592m³
・一時貯水タンクH 9月7日午前11時4分～午後3時59分。排水量730m³
・一時貯水タンクC 9月8日午前10時20分～午後2時36分。排水量636m³
・一時貯水タンクA 9月9日午前10時50分～午後4時55分。排水量906m³
・一時貯水タンクE 9月11日午前11時34分～午後5時20分。排水量860m³
・一時貯水タンクG 9月13日午前10時30分～午後3時51分。排水量797m³
・一時貯水タンクH 9月15日午前11時11分～午後4時5分。排水量731m³
・一時貯水タンクD 9月17日午前11時49分～午後4時27分。排水量689m³
・一時貯水タンクF 9月19日午前10時30分～午後3時24分。排水量728m³

- ・一時貯水タンクG 9月21日午前11時11分～午後4時3分。排水量723m³
- ・一時貯水タンクH 9月23日午前10時56分～午後10時57分。排水量2m³
- ・一時貯水タンクE 9月27日午前10時27分～午後4時9分。排水量850m³
- ・一時貯水タンクA 9月28日午前10時15分～午後3時59分。排水量854m³
- ・一時貯水タンクG 9月29日午前11時13分～午後5時13分。排水量893m³
- ・一時貯水タンクH 9月30日午前10時25分～午後3時21分。排水量736m³
- ・一時貯水タンクF 10月1日午後3時8分～午後9時56分。排水量1,014m³
- ・一時貯水タンクC 10月3日午前10時50分～午後5時43分。排水量1,025m³
- ・一時貯水タンクL 10月4日午前10時31分～午後5時22分。排水量1,022m³
- ・一時貯水タンクE 10月5日午前10時32分～午後4時28分。排水量884m³
- ・一時貯水タンクA 10月6日午前10時23分～午後2時32分。排水量617m³
- ・一時貯水タンクG 10月7日午前10時28分～午後5時20分。排水量1,023m³
- ・一時貯水タンクB 10月8日午前10時46分～午後3時24分。排水量692m³
- ・一時貯水タンクH 10月9日午前10時14分～午後2時16分。排水量602m³
- ・一時貯水タンクC 10月11日午前10時25分～午後5時15分。排水量1,021m³
- ・一時貯水タンクK 10月12日午前11時00分～午後4時00分。排水量746m³
- ・一時貯水タンクE 10月13日午前10時42分～午後3時01分。排水量643m³
- ・一時貯水タンクG 10月15日午前10時46分～午後2時48分。排水量600m³
- ・一時貯水タンクA 10月18日午前10時12分～午後5時01分。排水量1,018m³
- ・一時貯水タンクC 10月19日午前10時36分～午後5時22分。排水量1,009m³
- ・一時貯水タンクH 10月19日午前11時18分～午後4時25分。排水量764m³
- ・一時貯水タンクL 10月20日午前10時47分～午後5時33分。排水量1,008m³
- ・一時貯水タンクE 10月21日午前10時22分～午後5時13分。排水量1,022m³
- ・一時貯水タンクF 10月22日午前10時14分～午後5時4分。排水量1,020m³
- ・一時貯水タンクG 10月23日午前10時41分～午後4時38分。排水量890m³
- ・一時貯水タンクJ 10月25日午前10時26分～午後5時19分。排水量1,025m³
- ・一時貯水タンクB 10月26日午前9時47分～午後4時37分。排水量1,017m³
- ・一時貯水タンクC 10月27日午前10時29分～午後3時3分。排水量681m³
- ・一時貯水タンクA 10月28日午前10時17分～午後5時4分。排水量1,013m³
- ・一時貯水タンクE 10月29日午前10時50分～午後5時13分。排水量953m³
- ・一時貯水タンクF 10月30日午前10時19分～午後2時38分。排水量643m³
- ・一時貯水タンクG 10月31日午前11時9分～午後3時25分。排水量636m³
- ・一時貯水タンクH 11月1日午前10時22分～午後2時38分。排水量636m³
- ・一時貯水タンクJ 11月2日午前10時50分～午後5時17分。排水量962m³
- ・一時貯水タンクC 11月5日午前10時47分～午後5時38分。排水量1,022m³
- ・一時貯水タンクD 11月6日午前10時38分～午後3時17分。排水量693m³
- ・一時貯水タンクE 11月7日午前10時16分～午後1時26分。排水量472m³
- ・一時貯水タンクF 11月8日午前10時57分～午後5時48分。排水量1,022m³
- ・一時貯水タンクG 11月9日午前11時17分～午後4時0分。排水量703m³
- ・一時貯水タンクH 11月10日午前10時22分～午後3時4分。排水量702m³
- ・一時貯水タンクJ 11月11日午前10時9分～午後3時26分。排水量788m³

- ・一時貯水タンクK 11月12日午前10時44分～午後3時54分。排水量771m³
- ・一時貯水タンクC 11月13日午前10時50分～午後3時40分。排水量722m³
- ・一時貯水タンクD 11月14日午前11時8分～午後4時。排水量725m³
- ・一時貯水タンクE 11月15日午前10時24分～午後3時10分。排水量711m³
- ・一時貯水タンクF 11月16日午前10時50分～午後3時30分。排水量684m³
- ・一時貯水タンクG 11月17日午前10時26分～午後2時55分。排水量667m³
- ・一時貯水タンクH 11月18日午前10時54分～午後3時6分。排水量625m³
- ・一時貯水タンクJ 11月19日午前10時1分～午後1時46分。排水量558m³
- ・一時貯水タンクK 11月21日午前10時24分～午後4時44分。排水量945m³
- ・一時貯水タンクC 11月22日午前10時27分～午後1時39分。排水量474m³
- ・一時貯水タンクL 11月24日午前10時26分～午後3時53分。排水量812m³
- ・一時貯水タンクB 11月26日午前10時56分～午後4時17分。排水量763m³
- ・一時貯水タンクH 11月28日午前11時9分～午後4時。排水量722m³
- ・一時貯水タンクJ 11月30日午前10時33分～午後4時34分。排水量895m³
- ・一時貯水タンクK 12月1日午前9時52分～午後2時06分。排水量631m³
- ・一時貯水タンクL 12月3日午前10時31分～午後5時23分。排水量1,026m³
- ・一時貯水タンクA 12月5日午前11時29分～午後6時16分。排水量1,013m³
- ・一時貯水タンクB 12月6日午前10時23分～午後2時23分。排水量597m³
- ・一時貯水タンクD 12月8日午前10時40分～午後4時8分。排水量815m³
- ・一時貯水タンクE 12月10日午前10時25分～午後4時05分。排水量845m³
- ・一時貯水タンクF 12月12日午前10時26分～午後5時13分。排水量1,013m³
- ・一時貯水タンクG 12月14日午後0時5分～午後6時50分。排水量1,007m³
- ・一時貯水タンクH 12月16日午前10時27分～午後4時54分。排水量965m³
- ・一時貯水タンクJ 12月20日午前10時24分～午後3時44分。排水量795m³
- ・一時貯水タンクK 12月20日午前11時5分～午後4時55分。排水量872m³
- ・一時貯水タンクL 12月21日午前10時26分～午後1時19分。排水量428m³
- ・一時貯水タンクG 12月23日午前10時34分～午後4時26分。排水量876m³
- ・一時貯水タンクH 12月25日午前10時29分～午後3時26分。排水量739m³
- ・一時貯水タンクC 12月27日午前10時16分～午後2時57分。排水量697m³
- ・一時貯水タンクK 12月29日午前10時1分～午後2時33分。排水量676m³
- ・一時貯水タンクL 12月31日午前10時**分～午後*時**分。排水量**m³

<特記事項>

*一時貯水タンクBの排水については、水位計に不具合が確認され、1月23日中の復旧が見込めないことから、排水を延期。延期する排水日時が定まった場合には、お知らせする。

*一時貯水タンクBの排水については、1月23日に水位計の不具合が確認されたため、排水を延期していたが、1月24日に水位計を交換し、不具合が解消したことから、再度排水前分析を実施した。

・9月1日午前10時54分、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクC排水作業において、「港湾排水流量A 偏差大」警報が発生し、10時55分に排水を手動で停止(停止までの排水量:3m³)。その後の現場状況を確認した結果、当該排水ラインからの漏えいがないことを確認。なお、モニタリング

状況についても異常がないことを確認。原因については引き続き調査する。

原因調査の結果、当該排水ラインに使用している流量計に動作不良が確認されたことから、当該計器の点検を実施し、現在は異常が発生していないことを確認。なお、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの排水については、別途お知らせする。

*1 サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDの排水については、「港湾排水流量A 偏差大」警報が発生したことから9月6日に延期する。

*2 サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEからの排水については、9月1日に「港湾排水流量A 偏差大」警報が発生したA系排水ラインとは異なる、B系排水ラインから排水を実施。

・9月23日午前10時56分、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクH排水作業において、「港湾排水流量計の指示上昇」を確認できなかったため、10時57分に排水を手動で停止(停止までの排水量:2m³)。その後の現場状況を確認した結果、当該排水ラインからの漏えいがないことを確認。なお、モニタリング状況についても異常がないことを確認。原因については引き続き調査する。

原因調査の結果、当該排水ラインに使用している流量計にエラー表示が発生したため計器故障と判断し、流量計を交換。流量計交換後、正常に流量を計測できることを確認。

地下水バイパス

以下、排水実績のみ記載。

<排水実績>

・一時貯留タンクグループ3	1月6日午前9時53分～午後5時13分。排水量2,011m ³
・一時貯留タンクグループ2	1月13日午前10時58分～午後6時15分。排水量2,016m ³
・一時貯留タンクグループ3	1月22日午前11時19分～午後6時11分。排水量1,860m ³
・一時貯留タンクグループ1	2月16日午前11時40分～午後5時9分。排水量1,210m ³
・一時貯留タンクグループ2	3月13日午前10時38分～午後3時27分。排水量1,361m ³
・一時貯留タンクグループ3	3月22日午前10時24分～午後5時54分。排水量2,120m ³
・一時貯留タンクグループ1	4月2日午前10時28分～午後4時14分。排水量1,579m ³
・一時貯留タンクグループ2	4月3日午前10時17分～午後4時35分。排水量1,718m ³
・一時貯留タンクグループ3	4月10日午前10時18分～午後4時40分。排水量1,737m ³
・一時貯留タンクグループ1	4月17日午前10時5分～午後4時6分。排水量1,686m ³
・一時貯留タンクグループ2	4月24日午前10時14分～午後4時3分。排水量1,663m ³
・一時貯留タンクグループ3	5月1日午前10時14分～午後4時15分。排水量1,686m ³
・一時貯留タンクグループ1	5月8日午前10時27分～午後4時27分。排水量1,665m ³
・一時貯留タンクグループ2	5月15日午前10時7分～午後3時56分。排水量1,647m ³
・一時貯留タンクグループ3	5月22日午前10時21分～午後4時13分。排水量1,647m ³
・一時貯留タンクグループ1	5月29日午前10時22分～午後4時15分。排水量1,659m ³
・一時貯留タンクグループ2	6月5日午前10時6分～午後4時19分。排水量1,686m ³
・一時貯留タンクグループ3	6月12日午前10時8分～午後3時42分。排水量1,562m ³
・一時貯留タンクグループ1	6月19日午前9時56分～午後4時。排水量1,708m ³
・一時貯留タンクグループ2	6月26日午前10時24分～午後4時11分。排水量1,661m ³
・一時貯留タンクグループ3	7月3日午前10時20分～午後4時12分。排水量1,644m ³

・一時貯留タンクグループ1	7月10日午前10時24分～午後4時13分。排水量1,641m ³
・一時貯留タンクグループ2	7月18日午前10時25分～午後4時6分。排水量1,628m ³
・一時貯留タンクグループ3	7月24日午前10時56分～午後4時32分。排水量1,579m ³
・一時貯留タンクグループ1	7月31日午前10時26分～午後4時9分。排水量1,579m ³
・一時貯留タンクグループ2	8月9日午前10時21分～午後4時16分。排水量1,668m ³
・一時貯留タンクグループ3	8月14日午前10時5分～午後3時43分。排水量1,585m ³
・一時貯留タンクグループ1	8月21日午前10時11分～午後3時57分。排水量1,630m ³
・一時貯留タンクグループ2	8月28日午前10時27分～午後4時10分。排水量1,634m ³
・一時貯留タンクグループ3	9月4日午前10時11分～午後3時56分。排水量1,623m ³
・一時貯留タンクグループ1	9月11日午前10時29分～午後4時18分。排水量1,625m ³
・一時貯留タンクグループ2	9月18日午前10時31分～午後4時11分。排水量1,626m ³
・一時貯留タンクグループ3	9月25日午前10時25分～午後4時10分。排水量1,614m ³
・一時貯留タンクグループ1	10月3日午前11時40分～午後5時3分。排水量1,499m ³
・一時貯留タンクグループ2	10月10日午前9時50分～午後2時24分。排水量1,295m ³
・一時貯留タンクグループ3	10月18日午前11時20分～午後5時13分。排水量1,609m ³
・一時貯留タンクグループ1	10月24日午前10時24分～午後3時41分。排水量1,469m ³
・一時貯留タンクグループ2	10月31日午前10時17分～午後3時19分。排水量1,433m ³
・一時貯留タンクグループ3	11月8日午前10時9分～午後3時46分。排水量1,569m ³
・一時貯留タンクグループ1	11月14日午前10時14分～午後1時56分。排水量1,014m ³
・一時貯留タンクグループ2	11月21日午前10時56分～午後3時18分。排水量1,218m ³
・一時貯留タンクグループ3	11月28日午前10時8分～午後2時20分。排水量1,165m ³
・一時貯留タンクグループ1	12月5日午前10時26分～午後2時46分。排水量1,184m ³
・一時貯留タンクグループ2	12月12日午前11時3分～午後3時18分。排水量1,182m ³
・一時貯留タンクグループ3	12月19日午前10時20分～午後2時58分。排水量1,273m ³
・一時貯留タンクグループ1	12月23日午前10時17分～午後4時22分。排水量1,655m ³

<特記事項>

現時点での特記事項なし

ALPS 処理水測定・確認用タンク

以下、放水実績のみ記載。

<放水実績>

・ALPS 処理水測定確認用タンクB群

2月28日午前11時11分～3月17日午後0時16分。7,794m³

・ALPS 処理水測定確認用タンクC群

4月19日午前11時14分～5月7日午後0時15分。7,851m³

(※なお、所内電源A系停止に伴い、以下の時間、放出を停止していた。

放出停止実績:4月24日午前10時43分～午後5時16分。)

・ALPS 処理水測定確認用タンクA群

- 5月17日午前11時37分～6月4日午後0時。7,892m³
- ALPS 処理水測定確認用タンクB群
- 6月28日午前11時46分～7月16日午前11時59分。7,846m³
- ALPS 処理水測定確認用タンクC群
- 8月7日午後0時5分～8月25日午後0時3分。7,897m³
- ALPS 処理水測定確認用タンクA群
- 9月26日午前11時59分～10月14日午前11時59分。7,817m³
- ALPS 処理水測定確認用タンクB群
- 10月17日午前11時43分～11月4日午後0時42分。7,837m³

【1～4号機サブドレン観測井のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項なし

【1号機放水路のサンプリング結果】

<特記事項>

現時点での特記事項無し

その他

【陸側遮水壁】

現時点での特記事項なし

【雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【増設雑固体廃棄物焼却設備】

現時点での特記事項なし

【窒素封入設備】

現時点での特記事項なし

【その他設備の不具合・トラブル】

- 2月19日、午後7時42分頃、1号機原子炉格納容器ガス管理設備において、核種分析装置B系の伝送異常警報が発生し、現場のモニタによる指示値の確認も水来ないことから午後7時59分に希ガスモニタB系の監視が水来ない状態と判断。
 なお、ドライウェル圧力、原子炉格納容器ガス管理設備排気流量、水素濃度、ダスト指示等に変化がなく、希ガスモニタA系については、異常はなく監視に支障がないことを確認。
 調査を行った結果、核種分析装置B系の現場監視装置モニタにエラーメッセージが発生していたことを確認したことから、午後10時28分に現場監視装置を再起動した。
 その後、希ガスモニタB系の指示値に異常がないことを確認したことから、午後11時43分、監視可能な状態に復帰したものと判断。
 今後、伝送異常が発生した原因を調査していく。
- 4月17日、午前10時13分頃、所内共通ディーゼル発電機(B)の定例試験中に受電遮断器が投入できない事案が発生し、午前10時52分に待機除外を判断。

状況は以下のとおり。

- 設備名称 : 所内共通ディーゼル発電機(B)
 - 発見者 : 当社社員
 - 設備の状況 : 確認中
 - 応急処置 : 受電遮断器の点検を予定
 - 影響拡大の有無: 外部電源は確保されており、1～3号機の冷温停止の維持および使用済燃料プールの冷却に支障を及ぼすおそれなし
 - 外部への影響 : プラントパラメータ、モニタリングポストの指示に異常なし
- その後、所内共通ディーゼル発電機(B)の当該受電遮断器を点検したうえで、定例試験を再度実施し、異常がないことを確認。これにより、4月17日、午後4時47分、所内共通ディーゼル発電機(B)は待機状態と判断。
- 4月24日午前10時43分頃、所内電源A系が停止した。
 プラント状況は以下のとおり。
 - 原子炉注水設備(1, 2, 3号機) : 運転継続
 - 使用済燃料プール冷却設備(1, 2, 5, 6号機、共用プール) : 運転継続
 - 格納容器ガス管理設備(1, 2, 3号機) : 運転継続
 - 窒素封入設備(1, 2, 3号機) : 運転継続
 - 陸側遮水壁設備 : 運転継続
 - 滞留水移送設備 : 運転継続
 - サブドレン他水処理設備 : 運転継続
 - 多核種除去設備 : 停止中(異常なし)
 - 1～6号機設備プラントパラメータ : 異常なし
 - 滞留水移送設備・水処理設備パラメータ : 異常なし
 - 排気筒モニタの指示値 : 異常なし
 - 構内ダストモニタ指示値 : 異常なし
 - 構内線量表示器指示値 : 異常なし
 - 構内排水路モニタ、海水放射線モニタ指示値 : 異常なし
 - ALPS 処理水希釈放出設備 : 放出停止 (停止時刻: 午前10時43分)
 午前10時43分頃に発生した所内電源A系の停止に伴い、免震重要棟M/Cの電圧がなくなった。このため、午前10時43分に実施計画第1編第29条で定める運転上の制限「免震重要棟の維持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」を逸脱したと判断。
 免震重要棟電源については、午前10時43分に免震重要棟ガスタービン発電機が自動起動し、午前11時30分現場にて免震重要棟M/C母線電圧確立を確認したことから、運転上の制限逸脱からの復帰を判断。
 また、午後0時にALPS 処理水希釈放出設備に異常がないことを確認。
 現場状況を確認したところ、大型機器点検建屋西側屋外において発生した負傷者が掘削していた現場は、停止した所内電源A系ケーブル(電路)の近傍であることが確認されたことから、掘削作業によりケーブルを損傷したものと推定。詳細については現在調査中。
 4月24日、午後2時23分頃、所内電源A系の電源復旧作業の過程において、免震重要棟の電源が喪失。
 このため、午後2時23分に実施計画第1編第29条で定める運転上の制限「免震重要棟の維

持に必要な交流高圧電源母線が受電されていること」を逸脱したと判断。

その後、午後2時43分に所内共通M/C5Aより免震重要棟M/Cを受電し母線電圧確立を確認したことから、午後2時43分運転上の制限逸脱からの復帰を判断。

所内共通M/C1Aおよびその下流のM/C電源について、受電操作が完了。(完了時刻:4月24日午後4時3分)

所内共通M/C1A系の停止により、ALPS処理水希釈放出設備は停止していたが、電源受電操作が完了したことから、4月24日、午後5時16分に放出を再開。放出状況については、漏えい等の異常がないことを確認。

・6月18日午前8時33分頃、6号機M/C(高圧電源盤)6Cが電源停止し、それに伴いディーゼル発電機6Aが自動起動した。また、同時刻に6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)がトリップしたことを確認。

午前8時35分頃、6号機タービン建屋地下1階において火災報知器が作動。午前9時30分頃、当社火元確認者が現場において、火気がないこと、煙が発生していること、ならびに徐々に視界がよくなってきていることを確認。

午前11時33分頃、公設消防により発煙が停止していることを確認。当社による現場調査結果を踏まえ、後日、公設消防にて火災に係る判断が行われる。なお、本事案発生時に当該箇所近傍での作業は行っていない。本件において、傷病者はいない。

6号機使用済燃料プール冷却浄化系ポンプ(B)については、現場の安全確認ができたため午後6時19分、再起動した。ポンプ再起動に至るまでの使用済燃料プールの水位・水温に、有意な変動は確認されていない。

各プラントの安定状態を維持する機能は運転を継続しており、モニタリングポスト、敷地境界連続ダストモニタのパラメータについても有意な変動は確認されていない。

6月19日6号機タービン建屋地下1階の現場調査を行い、天井付近にあるダクト内の相非分割母線に焼損を確認。公設消防がこれらの状況を確認の上、午後3時15分に「火災」と判断された。引き続き、本事案の原因究明を進めていく。

・11月13日午前11時37分、2号機原子炉格納容器ガス管理設備(以下「PCVガス管理設備」という)B系において地絡警報が発生し、サンプリングポンプが停止した。これに伴い、B系の希ガスモニタ等の監視ができない状態と判断。現場設備の状況を確認している。

また、PCVガス管理設備のサンプリングポンプA系については正常に動作しており、希ガスモニタ等の指示値に異常はなく、プラントデータ監視に支障はないこと、およびプラントパラメータ、モニタリングポスト指示値に有意な変動はないことを確認。

停止したPCVガス管理設備のサンプリングポンプB系の回路を確認した結果、異常がないことが確認できたことから、当該サンプリングポンプの運転を再開した。PCVガス管理設備B系の希ガスモニタ等の指示値に異常がないことを確認したことから、午後7時、監視可能な状態に復帰したものと判断。なお、地絡警報発生による、火、煙がないことを確認している。

【けが人・体調不良者等】

・2月7日午前10時49分頃、発電所構内第二土捨て場において、体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室で医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると判断されたため、午前11時48分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・体調不良者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 : なし
- ・発生状況 : 作業中、体調不良を訴えた

当該体調不良者は、救急車で医療機関に到着。

- ・救急車水発時刻 : 午後0時14分
- ・救急車到着時刻 : 午後0時31分

その後、当該体調不良者については、医療機関にて医師の診断の結果、個人の疾病と判断。なお、個人の疾病であり、病名等は控える。

・3月19日午前10時25分頃、発電所構内1号機原子炉建屋屋外において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると判断されたため、午前11時20分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : 作業中、工具で右手薬指を挟み負傷

当該負傷者は、救急車で医療機関に到着

- ・救急車水発時刻: 午前11時51分
- ・救急車到着時刻: 午後0時35分

その後、当該負傷者については、医療機関にて医師の診断の結果、右環指指尖部損傷と診断。

・4月22日午前8時45分頃、2号機燃料取り出し用構台において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると判断されたため、午前9時31分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : 作業中、鉄骨に指を挟み負傷

当該負傷者は、救急車で医療機関に到着

- ・救急車出発時刻: 午前10時8分
- ・救急車到着時刻: 午後2時27分

その後、当該傷病者は、医師の診断の結果、右中指末節骨開放骨折と診断。

・4月24日午前10時47分頃、大型機器点検建屋西側屋外において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると判断されたため、午前10時57分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし
- ・発生状況 : 掘削作業中、負傷した。負傷者の意識はあり。

当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。

- ・救急車出発時刻:午前 11 時 34 分
- ・救急車到着時刻:午前 11 時 49 分

医療機関にて医師の診断の結果、右頬部、右前腕 2 度熱傷と診断。(入院なし)

・5 月 23 日午前 8 時 45 分頃、固体廃棄物貯蔵庫第 10 棟付近において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前 9 時 20 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 :協力企業作業員
 - ・身体汚染の有無:なし
 - ・発生状況 :生コンクリート供給作業中、ステップ(高さ約 1m)から足を踏み外して転倒し負傷
- 当該負傷者は、救急車で医療機関に到着
- ・救急車出発時刻:午前 9 時 45 分
 - ・救急車到着時刻:午前 9 時 56 分

その後、当該負傷者は、搬送先医療機関の医師の診察の結果、左腸骨白蓋骨折と診断。

・6 月 5 日午前 9 時 55 分頃、発電所構内港湾エリア(東波除堤)において負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前 11 時 27 分、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 :協力企業作業員
- ・身体汚染の有無:なし
- ・発生状況 :1~4 号機取水路開渠内の海底土再被覆工事の片づけ作業中に転倒、一時的に意識を失った

なお、当該の作業員については、入退域管理棟救急医療室搬送時点で、意識を回復していることを確認している。

当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻:午前 11 時 55 分
- ・救急車到着時刻:午後 0 時 20 分

その後、当該負傷者については、搬送先の医療機関での医師の診察の結果を踏まえ、個人の疾病と判断。なお、病名等は控える。

その後の災害発生状況の確認において、当該の作業員は意識を失った後、転倒したことを近傍で作業していた作業員からの聞き取りで確認できている。

・6 月 13 日、発電所構内企業センターB 棟休憩所において、傷病者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師により緊急搬送の必要があると判断したため、午後 0 時 51 分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 :午後 0 時 43 分頃
- ・発生場所 :発電所構内企業センターB 棟休憩所
- ・負傷者の所属 :協力企業作業員
- ・身体汚染の有無:なし
- ・発生状況 :休憩所で倒れており、心肺停止の状態

当該傷病者は、救急車で医療機関に到着

- ・救急車出発時刻:午後 1 時 22 分
- ・救急車到着時刻:午後 1 時 39 分

その後、当該作業員については、搬送先の医療機関にて、6 月 13 日午後、死亡が確認された。

・2022 年 2 月 17 日、協力企業作業員が旧情報棟内の装備交換所へ向かうため、屋外階段を移動中に転倒し負傷しました。

<発生時の状況>

- ・発生時刻 2022 年 2 月 17 日午前 10 時頃
- ・発生場所 発電所構内 旧情報棟付近の階段
- ・負傷者 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 なし
- ・発生状況

屋外階段を移動していたところ、濡れた階段の路面で足を滑らせ転倒し、休業 2 ヶ月 を要するけがを負った。

・なお、事案発生当時、本件について当社への報告はなく、2023 年 10 月 5 日に元請け企業を通じて当社へ報告があり、2024 年 7 月 18 日、福島労働局から、休業 4 日以上労働災害について、遅滞なく、労働者死傷病報告書を所轄労働基準監督署長へ提出しなかった疑いについて公表され、お伝えできる状況となったことからお知らせするものです。

・9 月 20 日午後 0 時 38 分頃、免震重要棟休憩所において、協力企業作業員の方に体調不良者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午後 1 時、救急車を要請。

状況は以下のとおり。

- ・身体汚染の有無 なし
- ・発生状況 作業完了後、休憩所で体調不良を訴えた。
- ・救急車出発時刻 午後 1 時 33 分
- ・救急車到着時刻 午後 1 時 48 分
- ・搬送先の病院で医師の診察を受けたところ、熱中症と診断された。

・9 月 25 日午前 7 時 15 分頃、5 号機タービン建屋において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前 8 時

15分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし

・発生状況 : 5号機タービン建屋において作業中に右手小指を挟まれ負傷した。

なお、当該作業員は意識あり、自立歩行可能な状態。

当該負傷者は、救急車で搬送先の医療機関に到着

- ・救急車出発時刻: 午前8時43分頃
- ・救急車到着時刻: 午前9時15分頃

当該負傷者については、搬送先の医療機関での医師の診断の結果、右小指切断と診断された。(右小指切断となっているが、実際には縫合や皮膚移植が必要な状態であり、切断には至っていない)

・12月10日午前9時33分頃、5号機タービン建屋地下1階において、負傷者が発生した。入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前10時41分、ドクターヘリを要請。

状況は以下のとおり。

- ・負傷者の所属 : 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無: なし

・発生状況 : 作業前の移動中に頭部をぶつけた(ヘルメット着用) 意識あり

当該負傷者は、ドクターヘリで搬送先の医療機関に到着

- ・ドクターヘリ出発時間: 午前11時35分
- ・ドクターヘリ到着時間: 午前11時55分

その後、当該負傷者については、搬送先の医療機関での医師の診断の結果、「脳震盪・頭部打撲傷・非骨傷性頸髄損傷の疑い」と診断。なお、12月12日に職場復帰している。

【その他】

・2月7日午前8時53分頃、協力企業作業員が高温高圧焼却炉建屋東側壁面の配管から水が漏れいしていることを確認。

状況は以下のとおり。

- ・発生場所 : 高温高圧焼却炉建屋東側
- ・漏えい箇所 : 高温高圧焼却炉建屋東側壁面に設置されている第二セシウム吸着装置のベント口
- ・漏えい範囲 : 漏えい箇所下部敷き鉄板上約4m×4m×深さ1mm
漏えい箇所下部敷き鉄板の隙間から土壌へ漏えい水がしみ込んだ可能性あり
- ・拡大防止処置 : 漏えい箇所を区画
- ・漏えい継続の有無 : なし

・汚染の有無 : あり スミヤ測定結果: 72,000cpm(バックグラウンド: 300cpm)
測定結果より第二セシウム吸着装置の系統水と判断

・外部への影響 : モニタリングポスト・敷地境界連続ダストモニタの指示値に有意な変動がないことを確認

漏えい箇所からの距離が最も近いK排水路モニタの指示値に有意な変動がないことを確認

漏えい箇所近傍に堰・側溝がないことを確認

漏えい箇所下部敷き鉄板の隙間から土壌へ漏えい水が染み込んだ可能性があるため、今後、土壌の回収を行う

漏えい量の概略評価を行ったところ、2月7日午後3時30分、法令に定める※「発電用原子炉施設の故障その他の不測の事態が生じたことにより、核燃料物資等(気体状のものを除く)が管理区域内で漏えいしたとき」に該当すると判断した。

なお、近傍の構内連続ダストモニタの指示値が通常の変動範囲内で一時的にごくわずかに上昇したが、現在は、元の値に戻っている。

また、モニタリングポスト・敷地境界連続ダストモニタ・漏えい箇所からの距離が最も近いK排水路モニタの指示値に有意な変動はない。

※「東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物資の防護に関する規則第18条第11号」

・2月22日午前3時37分、増設雑固体廃棄物焼却建屋の廃棄物貯留ピットの火災報知器が作動し、監視カメラで現場付近を確認したところ、現場火元なしを確認。その後、水蒸気により現場確認ができなくなったことから、以下の通り、双葉消防本部へ連絡を実施。

・発見者 : 当社社員

・プラント設備への影響 : 確認中

・双葉消防本部への連絡時刻: 午前5時58分(119番通報)

火災報知器の作動により、増設雑固体廃棄物焼却建屋の廃棄物貯留ピットに係わる防火シャッターが閉まっていることから、廃棄物貯留ピット周辺のシャッターを開放し、廃棄物貯留ピット内の状況の確認を進めている。

午後0時3分に安全を確保したうえで増設雑固体廃棄物焼却建屋3階の防火シャッターを開け、当社社員により廃棄物貯留ピットの状況を確認。目視確認の結果では、水蒸気の量は多かったものの、廃棄物貯留ピット内に炎は確認されず、廃棄物貯留ピット近傍の温度についても約30℃程度であったことを確認。なお公設消防も午後1時34分に同様の状況を確認。

現場の詳細を確認するためには、廃棄物貯留ピット内の水蒸気を排気し、視認性を高める必要があることから、今後、火災報知器の作動により停止していた排気設備を復旧する予定。

廃棄物貯留ピット内の水蒸気の排気を確認できた後、改めて現場確認を行う予定。

火災報知器の作動によって停止していた排気設備の復旧は、午後4時8分より開始し、午後8時に復旧作業を終了。廃棄物貯留ピット内への注水を2月23日午前0時40分より開始。廃棄物貯留ピット内への注水開始以降、廃棄物貯留ピット内の状況を確認しているが、現在も水蒸気の滞留が解消していないため、注水を継続している。

2月24日午後2時47分、公設消防により「非火災」と判断された。

水蒸気の滞留を解消することを目的とし、廃棄物貯留ピット内への注水を継続していたが、廃棄物貯留ピット上部(気相部)の温度は 24℃程度まで低下したことから、廃棄物貯留ピット内への注水容量を確保するため、2月25日午後2時03分に注水を一旦停止。今後、現場状況を確認しながら必要に応じ注水を実施。

その後、廃棄物貯留ピット内の水蒸気の滞留は無くなっており、視認性が改善された。また、廃棄物貯留ピット内の温度についても低下後安定していることを確認。現在、廃棄物貯留ピット内の水やチップの回収に向けて、検討を進めており、今後、回収に向けた準備作業から実施してまいる。なお、周辺のモニタリングポスト等への影響は確認されてない。

・3月15日午前0時14分頃、福島県沖を震源とする地震が発生。

立地4町震度は、楢葉町が震度5弱、大熊町、双葉町、富岡町が震度4。

発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、

水平:19.4ガル、垂直:12.0ガル。

プラント状況は以下の通り。

- ・モニタリングポスト指示値 :有意な変動なし
- ・発電所敷地境界ダストモニタ指示値 :有意な変動なし
- ・原子炉注水設備(1, 2, 3号機) :運転継続
- ・使用済燃料プール冷却設備(1, 2, 5号機、共用プール) :運転継続
※使用済み燃料プール(6号機)地震前より冷却停止中
- ・陸側遮水壁設備 :異常なし
- ・外部電源(大熊線 3L)大熊線 4L については点検中 :異常なし
- ・外部電源(双葉線 1L, 2L) :異常なし
- ・1～6号機設備プラントパラメータ :異常なし
- ・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ:異常なし
- ・排気筒モニタの指示値 :有意な変動なし
- ・構内ダストモニタ指示値 :有意な変動なし
- ・構内線量表示器指示値 :有意な変動なし
- ・構内排水路モニタ、海水放射線モニタ指示値 :有意な変動なし
- ・ALPS 処理水希釈放水設備 :運転停止(停止時刻:午前0時33分)

[水処理設備]

以下の設備については、遠隔監視にて異常のないことを確認しているが、あらかじめ定められた手順に従い運転を停止し、パトロールを開始。

- ・ALPS 処理水希釈放水設備 (運転開始時刻:午後3時49分)
- ・サブドレン設備
- ・汚染水処理設備 SARRY II
- ・地下水バイパス設備

・滞留水移送設備

・既設 ALPS

その後、停止していたALPS処理水希釈放水設備、滞留水移送設備および水処理設備については、設備に異常がないことを確認できたため、全ての設備について午後3時49分までに運転を再開し、全ての設備について現場の異常がないことを確認している。

[パトロール]

実施計画に基づく地震後区分Ⅲパトロールを午前0時48分に開始し、午後0時50分に完了した。設備の異常は確認されていない。

なお、引き続き定例のパトロールにおいても現場設備の状況を注視して参る。

・10月8日午前9時53分頃、1号機タービン建屋付近の防潮堤東側(海側)路面に油膜があることを当社社員が発見した。

状況は以下のとおり。

- ・油漏えい範囲 :1号機タービン建屋東側 重機周辺 約10m×約20m
- ・油中和処理範囲 :1号機および2号機付近の防潮堤東側 南北約100m、東西約80m
- ・周辺に火気、可燃物がないことを確認
- ・油については、海への流出がないことを確認
- ・双葉消防本部への連絡時刻:午前9時59分

本事案については午前11時25分、富岡消防署により「重機からの油漏れ」と判断。

油漏えい範囲および油中和処理範囲については、吸着マットにて回収、中和処理作業を継続している。